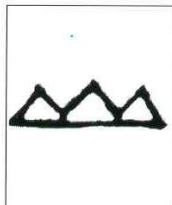




漢字を書くことをより楽しく！～古代文字～

◎ ドリル、プリント、テスト…、漢字の読み書きに苦労している子供たちも多いと思います。
「なかなか漢字をおぼえられない」「漢字を書くのがめんどろ」「たくさんあって疲れる」

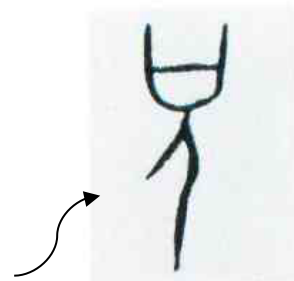
◎ 漢字は、今から約 3000 年ほど前から、人と人とのコミュニケーションを豊かにしていく願いのもとに、絵をもとに「古代文字」して生まれ、その後種類を増やししながら、少しずつ変化、発展し、現在の形になってきました。



これらの古代文字は、現在は「雨」「山」「月」という漢字になっています。絵をもとにしてできていることがよくわかりますね。

◎ 子供たちと漢字の勉強をするとき、この古代文字を紹介するとすごく漢字に興味をもってくれます。「絵と字が似ているね」「絵と字が全然違うじゃない」などと、いろいろな感想を言ってくれます。そして、「漢字を書くことが嫌いだ」という子供でも、自分でいろいろな古代文字を調べて書いたりします。なかには、毛筆で古代文字を書いて、ひとつの「作品」として仕上げ教室に飾る子供もいます。自分で自由に漢字を「創作」して楽しむ子供もいます。自分から進んで漢字を書いているのです。

◎ 漢字を書く学習が単なる「作業」ではなく、そこには文字が生まれた「意味」があり、人と人とのコミュニケーションがあり、子供たちのもつ「個性」や「想像力」も生かされています。時には、このような形で漢字に触れることもよいことだと思います。



Q 「この古代文字は、現在は何の漢字になっているでしょうか？」

◎ 「さんずい」や「くさかんむり」のように部首ごとに意味を考えながら漢字分類するとおぼえやすいことは、よく知られた学習方法です。「さんずい」を部首にもつ漢字は、「海」「湯」「流」など「水」に関係あるものです。では、「法律」の「法」の部首は「さんずい」です。水と関係ないように思われますが、なぜ、「さんずい」なのか？ こんなことを考えるのも楽しいです。

※ Qの答え「兄」

※「こころのお便り」は、情緒通級の現役教諭が原稿を書き、深大出版で編集しています。

子育てに悩む保護者の方、児童を理解したい先生等どなたでもプリントしてお使いいただけます。